

作成日 2025年2月1日
改訂日 2025年12月25日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ROYAL レザー & タイヤワックス
製品コード 49000110
整理番号 TR-063
供給者の会社名称 株式会社プリーマタイヤサプライズ
住所 東京都新宿区新宿1-25-14 第2関根ビル2階
電話番号 03-3358-6908
FAX番号 03-3358-6954
推奨用途 自動車タイヤ用ワックス剤
使用上の制限 使用上の注意をよく読み、用途以外に使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

GHS分類に該当するデータは得られていない。

GHSラベル要素

情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分名	含有%	CAS No.	化審法No.	安衛法	PRTR法	毒劇物法
非イオン系界面活性剤	1.0以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
シリコーンオイル	10.0以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
グリコール系溶剤	5.0以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
増粘剤	0.5以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
展着剤	5.0以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
防腐剤	0.1以下	登録済	登録済	非該当	非該当	非該当
水	80.0以上	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当

化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

安衛法: 労働安全衛生法(安衛法)第57条の2第1項政令指定物質の政令番号

PRTR法: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善、促進に関する法律
(PRTR法)対象化学物質の政令番号

毒劇物法: 毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物指定物質

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水/炭酸ガス/粉末消火剤/アルコフォーム/乾燥砂
粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。

使ってはならない消火剤

知見なし

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

可燃性のあるものを周囲から取除くこと。
消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように注意すること。

大規模火災には消火剤を使用すること。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	<p>火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。</p> <p>関係者以外は安全な場所に退去させる。</p> <p>消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。</p>
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	<p>作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。</p> <p>多量の場合、人を安全な場所に退避させる。</p> <p>必要に応じた換気を確保する。</p> <p>漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。</p> <p>少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。</p> <p>多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。</p> <p>付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。</p> <p>床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。</p> <p>漏出物の上をむやみに歩かない。</p>
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材	
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い	技術的対策
保管	接触回避 安全な保管条件
	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。</p> <p>取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。</p> <p>『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>製品の品質保護のため、0～40℃の範囲で保管する。</p> <p>使用の都度、容器を密栓すること。</p> <p>容器を横に倒して保管しないこと。</p> <p>容器から液が漏出しないように密栓すること。</p> <p>『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。</p> <p>施錠して保管すること。</p>
8. ばく露防止及び保護措置	
設備対策	<p>蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。</p> <p>取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。</p>
保護具	<p>呼吸用保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼、顔面の保護具</p> <p>皮膚及び身体の保</p>
	<p>防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用すること。</p> <p>耐溶剤性手袋、ゴム手袋等を着用すること。</p> <p>ゴーグル型もしくは側板付き普通眼鏡型を着用すること。</p> <p>保護衣、保護前掛け等を着用すること。</p>
9. 物理的及び化学的性質	
<p>物理状態</p> <p>形状</p> <p>色</p> <p>臭い</p> <p>融点／凝固点</p> <p>沸点又は初留点及び沸点範囲</p> <p>可燃性</p>	<p>液体</p> <p>液体</p> <p>白色</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p>

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		7.4(20°C)
動粘性率		データなし
溶解度		水に易溶
n-オクタノール／水分配係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		1.014(20°C)
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性		通常の使用下では安定である。
化学的安定性		通常の使用下では安定である。
危険有害反応可能性		知見なし
避けるべき条件		知見なし
混触危険物質		知見なし
危険有害な分解生成物		燃焼により、一酸化炭素及び二酸化炭素を発生する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が449250mg/kgのため区分に該当しないとした。
	経皮	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
	吸入	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
		(気体)
		GHS定義による気体ではない。
		(蒸気)
		急性毒性推定値が50000ppm超のため区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
		(粉じん・ミスト)
		急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		10×(区分1+1A+1B+1C)+区分2の成分合計が10%未満のため、区分3とした。
		JIS Z 7252に採用されていないため区分3から区分に該当しないに変更した。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
呼吸器感作性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
皮膚感作性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。

生殖細胞変異原性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
発がん性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
生殖毒性	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。 (生殖毒性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。 (生殖毒性・授乳影響) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
誤えん有害性	毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。 動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が25%未満のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が25%未満のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更した。
生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性	データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者や、収集運搬業者と委託契約して処理すること。 取扱いについては、「7.取扱い及び保管上の注意」を参照。 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 内容物を完全に除去した後、法規に従い産業廃棄物処理業者等に処分を委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国内規制	陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質 航空規制情報	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当 なし
緊急時応急措置指針番		
15. 適用法令		
労働安全衛生法 毒物及び劇物取締法 化学物質排出把握管理 促進法 (PRTR法)		非該当 非該当 非該当
16. その他の情報		
参考文献		<ol style="list-style-type: none"> 1. 国連GHS文書 改定6版 (2015)□ 2. JIS Z 7252:2019 「GHSに基づく化学物質等の分類方法」□ 3. JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」□ 4. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)公開データ□ 5. 弊社入手の安全データシート及び入手資料 国連GHS文書 改定6版 (2015) JIS Z 7252:2019 「GHSに基づく化学物質等の分類方法」 JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)公開データ 弊社入手の製品安全データシート及び入手資料
その他		安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者には提供されるものです。取扱う事業者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。